

## はじめに

本県では、高齢化の進行や生活構造の変化とともに、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の増加が問題となっています。中でも、がんは、昭和59年以降死亡原因の第1位となっており、その後も死亡率は上昇し続け、平成23年では死者数全体の23.7%を占めています。

県では、平成20年3月に、がんの発症予防から終末期ケアまでの総合的ながん対策を推進するための基本的な指針となる「福島県がん対策推進計画」を策定し、これまで、がん対策を推進してまいりました。

一方で、がん医療や支援における地域格差、施設間格差の問題や、小児がん対策、チーム医療、がん患者等の就労、がん教育等の新たな課題も明らかになってきました。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災及びそれに伴う原子力災害の影響により、長期間の避難生活を余儀なくされている方々をはじめ、多くの県民において、生活習慣の変化等により、生活習慣病発症のリスクの増大が懸念されています。

今般、こうした状況や国の「がん対策推進基本計画」の見直し等を踏まえ、新しい「福島県がん対策推進計画」を策定いたしました。本計画では、「がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けないふくしまの実現」を目標に掲げ、本県のがん対策を総合的かつ計画的に推進し、一層の充実を図ることといたしました。

本計画を着実に推進するためには、県民、市町村、医療機関・医療従事者、大学・学術研究機関、医師会等の関係者が一体となった取組が重要でありますことから、今後とも皆様の一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、御指導、御協力をいただきました、福島県がん対策推進協議会委員をはじめ、貴重な御意見をいただきました県民の皆様並びに関係各位に厚く御礼を申し上げます。

**平成25年3月**

**福島県知事 佐藤 雄平**